

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策研究事業）
分担研究報告書
研究分担者 安田 聡

既存データベースの活用による虚血性心疾患・大動脈疾患診療の実態ならびに
医療体制構築に向けた指標の確立のための研究

循環器疾患診療実態調査（JROAD）は、2004年より日本循環器病学会が主導で行っている全国調査である。JROADは、日本全体の循環器疾患の診療実態を知り得る、非常に貴重な一次データである。しかし多彩で複雑な評価を行う際には、患者個人レベルの情報が不可欠であると考えられる。そのため2014年調査より、JROAD参加施設の協力（任意）のもとDiagnosis Procedure Combination（DPC）データを収集し、データベースを構築する事業；「DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業」（JROAD-DPC）を開始した。本研究の目的は、JROAD-DPCを循環器疾患データベースとして活用する上で不可欠な、DPCデータのValidationを電子カルテ情報から抽出した詳細な臨床データとの比較の上で行うことにある。2012年度（2012年4月 - 2013年3月）のJROAD-DPCにより抽出した急性心筋梗塞症（AMI）、うっ血性心不全（CHF）、不安定狭心症（uAP）による入院全症例について、施設登録情報（医師による基準に則った臨床診断）をgolden standardとして、DPC情報による病名の感度、特異度を検証した。各疾患ともに特に特異度が高いことが明らかになった；AMI（感度：0.796、特異度：0.991）、CHF（感度：0.832、特異度：0.981）、uAP（感度：0.783、特異度：0.984）。重症度に関しては一定の目安にはなるものの更なる検討が必要である；AMI-Killip分類 ≥ 3 （感度：0.611、特異度：0.954）、CHF-NYHA分類 ≥ 3 （感度：0.875、特異度：0.525）、uAP-CCS分類 ≥ 3 （感度：0.563、特異度：0.875）

G．研究発表

1. 論文発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）
安田 聡、小川久雄、他. 「DPC データベースによる大規模臨床研究：JROAD-DPC から見る我国の循環器診療の現状」、南山堂『循環器専門医』26 巻 1 号(2018 年)

2. 学会発表

The Current Status of Cardiovascular Medicine in Japan; Insights from JROAD and JROAD-DPC Databases. 口頭, 安田 聡、小川久雄、他. 第 82 回日本循環器学会学術集会シンポジウム 11（2018 年 3 月 24 日）「わが国の循環器医療提供体制の課題と展望」、国内（大阪）
わが国の循環器医療提供体制の課題と展望. 口頭, 安田 聡、小川久雄、他. STROKE 2018 第 43 回脳卒中学会（2018 年 3 月 15 日）合同シンポジウム 3 「脳卒中と循環器病克服 5 ヵ年計画」、国内（福岡）

H．知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし